

東日本ユニオン よこはま

J R 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/ 松田 和秀
編集者/ 教育・広報部

J R 労働者の力を結集し、 年末手当要求満額を勝ち取ろう！

東日本ユニオン横浜地本は、力を合わせてたたかうべく国鉄労働組合神奈川地区本部 JR 東労組横浜地方本部に対し共同行動要請の申し入れをしています。

※年末手当・第2回交渉 11月9日(金) 14時~



職場からのたたかいで、本部交渉団を支えよう！

〇〇労働組合 〇〇〇〇〇本部
執行委員長 〇〇 〇〇 殿

2018年10月29日
JR東日本労働組合横浜地方本部
執行委員長 松田 和秀

2018年度年末手当の取り組みにおける共同行動要請の申し入れ

謹啓

仲秋の候、貴労働組合の活動に敬意を表します。

私たち JR 東日本労働組合は、10月19日に「基準内賃金の3.6ヶ月分」の要求を柱とする「2018年度年末手当に関する申し入れ」を経営側に提出しました。

これまでも諸課題に対して共同行動の要請をさせていただいておりますが、今2018年度年末手当の取り組みにおいても働く者の要求を勝ちとるべく、労働組合の垣根を越え、JR労働者の力を一つにして闘いたいと考えます。

JR東日本は、昨年4月に発足から30年の節目を迎えることができました。

その会社は、7月27日に「2018年度 第1四半期決算」を発表しました。単体決算は、営業収益・運輸収入が7期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高となり、連結決算も営業収益が7期連続の増収かつ、第1四半期決算としては過去最高を記録しました。また、8月20日に発表された「夏期間のご利用状況」をみれば、大雨による土砂流入の影響により山形新幹線で数日間運休が発生しましたが、お盆期間の新幹線・特急・急行列車のご利用状況は前年比101%を確保し、8月11日には新幹線のご利用が過去最高となっています。

これらの業績は言うまでもなく、日々の安全・安定輸送と鉄道ネットワークの拡充を担い、かつ品質の高いサービスを提供しているすべてのJR労働者の努力の結果に他なりません。

しかし、好調な業績をつくりだしたJR労働者の「生活の成長」は、未だ実現していません。急激な円安の進行、原材料価格の高騰などを理由とした生活必需品の値上げが相次ぎ、私たちの生活は会社の発展と成長に比して苦しさを増すばかりです。

日々努力するJR労働者に対する報いを求めて、経営側から共に満額回答を引き出すべく、今2018年度年末手当の取り組みにおける共同行動を要請致します。

ご検討をお願い致します。

1. 2018年度年末手当の取り組みにおける各機関開催の集会及び情勢学習等への相互参加
2. 各機関における共同の情報発行等

上記の申し入れに対するご回答及びご意見を誠に勝手ながら、11月6日(火)までに頂戴したいと思います。重ねて、ご検討をお願い致します。

謹白